

水稲V溝乾田直播栽培の生育状況（5月22日現在）

■ 耕種概要等

- ① 品 種 まっしぐら
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種、キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月23日
- ⑥ 播種量 乾粃 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度 (LP100)

■ 生育状況



乾田直播栽培展示圃の出芽は例年より早く、5月22日現在、早いところでは280本/m²程度、標準的なところでも180本/m²程度の出芽がみられています。

出芽が例年より早かった要因として、播種後の気温が平年より高く、日照時間も多かったことや、降水量が平年より多く土壌の湿り気が適度に保たれたことが考えられます。

同様に、ノビエの葉齢進展も例年より早まっています。

所内の圃場では4葉期を超える個体も散見されるようになってきました。



農林総合研究所では田植え作業の合間を見て、近々選択性茎葉処理剤（ノミニ液剤、200mL/10a）の散布を行う予定です。

■ 栽培管理のポイント

ラウンドアップマックスロードなどの非選択性茎葉処理剤を使用していない圃場では、選択性茎葉処理剤の散布時期になりつつあると考えられます。

ノビエの葉齢を観察して、除草剤の散布適期を逸しないようにしましょう。